

む こ 無辜の人、その命の鼓動

関水 英司個展

2024 6/5 wed - 6/17 mon 10:00~18:00 (最終日 16:00 まで) 6/11 tue 休廊 ギャラリー NEW 新九郎



「無辜の人、命の鼓動」
150cm×330cm



「無辜の人その命の鼓動・ドローイング」
33cm×24cm
黒鉛 グラファイト粉末定着
さらにグラファイト9Bによる描き込み

む こ 「無辜の人、その命の鼓動」

個展に寄せて 関水英司

私は自然や人間の抽象的な形態を通し命の根幹、命への尊厳を描きたいと願っています。
今回の個展の作品は人間の姿からスタートしました。

エスキースを重ねるうち、「魂の塊」のような量感が生まれました。(ドローイング参照)、現実の世界の状況の断面を、自らの思いと重ね、表現として捉えたかったのです。画面中央の黒い塊は人間のフォルムです。目も鼻もない異様なトルソ、それは非条理的な衝突から生まれた、暴力的に剥ぎ取られた人間の原型、罪もなく、圧殺された人間の姿。まさに「無辜の人」、虐げられた苦しみの姿が、そこに封じ込められているかのように存在している。

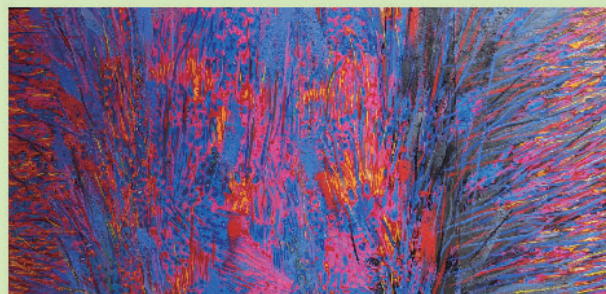
しかし、我々は「絶望しているだけでは足りない。」
その右側には羊水に包まれたように、今にも生まれ出ようとする胎児を描いた。

誕生の時を待っている、柔らかな黄のストロークに包まれた形象がそれだ。

そこには「命の鼓動」が響く。「死」からの再生、生まれ出ようとする命、「誕生の喜び」を同時に描きたかったのです。

生まれ出る命は希望の象徴なのだ、人間の望みなのだ、そんな思いを伝えたかったからです。

今回の個展タイトルは、DM作品からです。



「180億分の1の永遠」 神奈川東京新制作絵画展・横浜市民ギャラリーあざみ野



2023年 第86回新制作展 「宙にともる」
364cm×400cm 油彩

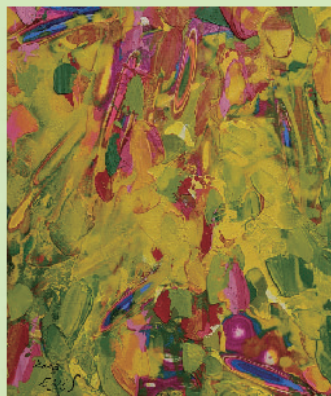
昨年の新制作展、「宙にともる」は原初の宇宙にともった、最初の命の生成、そのエネルギーを表現しました。躍動したムーブ感が必要で必然的に画面は大きくなりました。

横浜市あざみ野の神奈川・東京新制作展 (2024年5月)のタイトルは「180億分の1の永遠」、人の心臓の鼓動、血液を送り出す命の営みは平均して180億回くらいだと医学書で知り、その1回の血液の体内への循環の様を通し、「命の尊厳」に近づきたいと願いました。

今回の個展の他の出品作には自然の姿から「命の賛歌」に迫った作品がいくつかあります。「春に」「初夏の風」「若葉のころ」「夏の太陽」などです。

私の作品は何層も重ねたアクリルと胡粉による下地層から作られます。時間のかかる作業ですが、削り取った下地層の顔料に魅力を感じています。そこからさらに油彩で加筆していきます。この手法も定着し、ねらいと表現とがここ数年一致してきました。

どうか、ご高覧いただき、ご指導の言葉をいただきたく、よろしくお願いいたします。



「赤い樹」
F6 41cm×31cm

作品こぼれ話

2012年にボンビドー美術館で見た
ジョアン ミッチェル「禁じられた狩
猟」がいつも心に残った。その後、彼
女の作品に魅了され続けてきた。
(ジョアンミッチェル 後期抽象表現主
義のアメリカの女性作家)
横浜美術館で見た「印象派 モネ
その後の100年」展でモネとともに並
ぶ彼女の作品、「湖」、「紫色の木」を見
た時、憧れがどこにあったのかわかつ
た気がした、同時に現代美術の抽象
作家になぜ、モネが影響を与えたの
か、ジョアンミッチェルがモネにイン
スパイアされたものがなんだったの
か、わかった気がした。すぐに彼女に
挑戦する気持ちでこの「赤い樹」を描
いてみた。思考の継続が必要だった。



「初夏の陽」 41cm×41cm



「芽生え」 40cm×40cm



「春に」 33cm×33cm

関水英司略歴

和光大学 芸術学科卒業 萩 太郎に学ぶ

- 1990 新制作展初入選
- 1995 みゆき画廊個展 「愛 そのとき」
以後みゆき画廊にて6回
- 2006 新制作展新作家賞受賞 以後絵画部賞受賞 4回
- 2013 Fountain art fair New York 2013
3.11 Japan Nuclear power plant art exhibition in Berlin 2013
Brandenburg・ジャパンフェア・ラーテノウ展 1席
- 2013・2014「二人展」英司・由美子 「迫りくるもの」
岩手県北上市 画廊「ミレー」
- 2014 「ドローイングとはなにか」第5回全国公募入賞入選作品展
GALERIE志門
- 2015 新制作協会会員推挙
- 2016 個展 画廊「楽」
- 2017 岩手県山田町船越公園 桜苗木植樹
(北上国見ライオンズクラブにて)
- 2017 個展 「180億分の1の永遠」 K's Gallery
- 2018 個展 (作陶と平面による)180億分の1の永遠 Gallery412
- 2019 個展 「原初の種子」 Steps Gallery
- 2021 個展 「180億分の1の永遠・命の鼓動」 Steps Gallery
「河口聖 内海信彦 関水英司 3人展・針生一郎の方へ」
ギャラリー成瀬17
- 2022 個展「宙(そら)にとともる」 GALERIE志門
- 2023 SHAPE COLOR MIND 2023展 GALLERY SHIMIZU
- 2023 「6人による表現・それぞれの視点」 うしお画廊
山内量 林純夫 藤田邦統 矢澤健太郎 渡邊有葵 関水英司
(みゆき画廊から28回の継続開催)



関水 英司
Eiji Sekimizu

新制作協会会員
日本美術家連盟会員

モンマルトル洗濯船
現存する洗濯船ファサード前にて
2014



「命の鼓動」 60cm×72cm